

令和4年度

国庫補助金 重要文化財美術工芸品「広島県草戸千軒町遺跡出土品」修理事業概要

1 文化財の名称

重要文化財「広島県草戸千軒町遺跡出土品」(所有者：広島県)

平成16年6月8日指定

2 事業目的・内容

広島県福山市の芦田川の河口で見つかった、鎌倉時代から室町時代にかけて営まれた港町「草戸千軒町遺跡」から出土した考古資料のうち、重要文化財に指定された2,930点について、保存と活用を図るために、特に傷みのある資料から、保存修理を行う。

3 全体の事業期間

令和4年度は、第IV期5か年計画の3年目に当たる。

今年度は、令和4年4月から令和5年3月にかけて、土器・土製品1点、金属製品2点の保存修理を行う。

4 本年度総事業費及び交付決定金額

(1) 収入の部

(2) 支出の部

区 分	金 額	備考	区 分	金 額	備考
所有者負担額	円 1,216,000		(項) 修理費 (目) 委託料	円 2,308,625	
国庫補助額	1,216,000		(項) 事務費 (目) 旅 費 (目) 需用費	119,400 3,975	
合 計	2,432,000		合 計	2,432,000	

5 本年度の修理内容の概要

(1) 亀山焼甕 (指定番号 亀山8 [管理番号 27000032])

口径 39cm の亀山焼の甕である。口縁部から肩部まで残存し、石膏で一部復元している。破片の接合部および破片と石膏の界面が外れている箇所が複数あり、石膏に亀裂も生じていたため、再度保存修理を行った。

修理では、解体後石膏を樹脂に取り替え、破片断面に樹脂を塗布することで強化を図る。また、落とし込み式の台座を作成する。



修理前の状況



修理後の状況

(2) 飾金具 (指定番号 飾金具 17 [管理番号 32M00011])

長さ 3.6cm、幅 2.9cm の銅製の飾金具である。現在まで保存処理を行っておらず表面には緑青^{ろくしょう}が浮いており、固定に使用しているスチロールから外すことができない状態であった。

修理では、クリーニング後、防錆処理を行い、樹脂含浸処理によって強化する。また、落とし込み式の台座を作成する。



修理前の状況



修理後の状況

(3) 鉄鏃（指定番号 鉄鏃6〔管理番号 42M00012〕）

長さ 16.6cm, 幅 4.5cm の鉄鏃である。過去に保存修理を行っているが, 表面の剥離が全体に見られるため, 再度保存修理を行った。

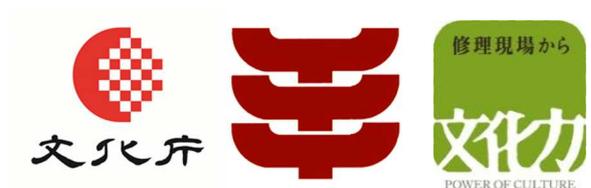
修理では, 以前の樹脂を拭き取りクリーニング後, 細片を接合し, 脱塩処理, 樹脂含浸処理によって強化する。また, 落とし込み式の台座を作成する。



修理前の状況



修理後の状況



本事業は, 文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2021